



あさお インフォメーション Information

保護者・地域の皆様へ
神奈川県立麻生養護学校
令和2年11月30日発行

11月は秋から冬への移行の時期です。新型コロナウイルス感染症の感染蔓延防止対策のため、「新しい日常」の中でこれまで普通と思っていた学校生活を見直しながら学習を進めていますが、季節は移り美しい冬紅葉が見られる季節になっています。

児童生徒は毎日学習を重ね、大切な学校行事「☆柿祭」で学習の様子・成果を発表しました。これまでのように地域の方々や関係機関の皆様に来校して直接ご覧いただくことはできませんでしたが、子どもたちの学習は日々積み重ねられています。☆柿祭のため、児童生徒が生き生きと準備する姿、普段の学習に向かう純粋さそして可能性に、教員一同は元気をもらいました。

校長 片平弘美

★ 実習を振り返って

先月、B高等部では校内実習を行いました。その様子をお伝えします。

1
年

1年生にとって初めての校内実習が終わりました。グループごとに仕事を分担して、紙すきのポチ袋を作りました。ミキサーでパルプ液を作るグループ、液を型に流し込むグループ、ポチ袋に加工するグループ…それぞれが力を発揮して、皆で仕事を繋げました。5日間でたくさんのすてきなポチ袋ができました！（土岐）



2
年

2年生はウェス作り・クリアファイルシール貼り・紙パック解体・紙パック運搬・アルミ缶つぶし・おりがみレイ作りを、それぞれの生徒が所属するグループで作業を行いました。昨年度よりも長い10日間の校内実習でしたが、どの作業グループでも、作業内容によって分担したり協力したりして、目標数値に向かって活動することができました。（湊）



3
年

3年生は、封筒の封部分への両面テープ貼り、使い捨てビニールエプロンづくり、ボールペンの組み立て、牛乳パックの解体、アルミ缶つぶし、シュレッダー作業をグループに分かれて行いました。3年間で最後の校内実習なので、今まで積み上げた経験があり、みんな自信をもって作業に取り組むことができていました！（内山）

